

平成25年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,548	4,847	299	(注1)
施設整備費補助金	2,418	1,803	△ 615	(注2)
施設整備資金貸付金償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	175	344	170	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	26	26	0	
自己収入	2,297	2,356	59	
授業料、入学金及び検定料収入	2,234	2,262	29	(注4)
雑収入	63	93	30	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	835	638	△ 197	(注6)
長期借入金	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	20	127	107	(注7)
計	10,319	10,142	△ 177	
支出				
業務費	6,865	7,064	199	(注8)
教育研究経費	6,865	7,064	199	
施設整備費	2,444	1,829	△ 615	(注9)
補助金等	175	415	241	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	835	659	△ 176	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
計	10,319	9,968	△ 351	
収入-支出	0	174	174	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、主として前年度から繰り越した額のうち使用額(130百万円)が当初の予定よりも多かったこと、及び予算段階では予定していなかった復興関連事業(177百万円)が交付されたことに伴い予算額に比して決算額が299百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、主として予算段階では予定していなかった減額変更を申請したことに伴い予算額に比して決算額が615百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった産学連携推進事業費補助金などが交付されたことに伴い、予算額に比して決算額が170百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として当初の見込みより授業料の前倒収納額が増加したことに伴い、予算額に比して決算額が29百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として学校財産貸付料収入や著作権及び特許権収入が増加したことに伴い、予算額に比して決算額が29百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、産学連携等収入が当初の予定より193百万円減少したこと、及び寄附金収入が当初の予定より15百万円減少したことに伴い、予算額に比して決算額が208百万円少額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については教育研究等の質の向上を図るべく施設整備事業に使用したことに伴い、予算額に比して決算額が107百万円多額となっています。
- (注8) 業務費については、業務実施にあたり経費の節減に努めましたが、施設整備事業の推進に伴い支出が増加したこと、及び(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が199百万円多額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が615百万円少額となっています。
- (注10) (注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が241百万円多額となっています。
- (注11) (注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が176百万円少額となっています。